

(様式1)

「高校生のための学びの基礎診断」への申請について

2021年 6月 28 日

①事業者名	ブリティッシュ・カウンシル					
②測定ツール名	Aptis for Teens (アプティス フォー ティーンズ/中高生向けAptis)					
③主な対象者	10代英語学習者 (中等教育課程)で、CEFRでA1からB2のレベルの生徒を対象とします。					
④対象教科	国語	数学	英語	⑤測定内容の区分	基本タイプ	標準タイプ
			○			○
⑥申請する測定ツールの目的・概要	AptisはSocio-cognitive(社会認知)モデルの言語テストとしてデザインされました。英語を一般的に使用する様々な場面を想定し、英語4技能での、コミュニケーション力を測定する事を目的としています。また10代向けのAptisでは中高生が学校生活で使用する単語を出題に入れています。Aptisは団体向けに設計された評価ツールで、個人向けの資格試験ではありません。教育機関等で、学生の英語力を技能別に評価し、授業計画の立案、指導、クラス分け、または授業の質評価の際に利用されます。					
⑦申請する測定ツールの特長・活用例等	実施日時を自由に選べる融通の高さと、CEFRによる成績提供で世界的な基準で英語のコミュニケーション力を評価する点の特徴といえます。技能ごとにCEFRで評価が出来ますので、強化が必要な技能を認識してPDCAサイクルを計画することが可能となります。4技能型のテストですが、採点結果も5日以内で提供できますので、授業計画の見直しの際にスケジュールが立てやすいという利点もあります。実際のコミュニケーションを想定した設問となっているので、Aptisを受けることによる良いウオッシュバックも期待されます。マレーシア教育省の教員の英語力測定や、日本・京都大学での新規導入プログラムの効果測定に利用されました。2020年度の台湾教育省の英語力調査でAptisは測定ツールとして利用され、450の学校で、6,600人の生徒を対象に4技能テストを実施しました。					
⑧実施期間、年間実施回数	試験日時は学校側で設定することが可能。 実施回数にも制限はありません。					
⑨実施方式(CBT/PBT)	CBT					
⑩試験時間(分)	国語	数学	英語			
				文法と語彙(コアパート):25分 リーディング:35分/リスニング:40分 ライティング:50分 スピーキング:12分		
⑪受検料	1)8,800円 (2021年度現在10%の消費税込み価格)/ 回 :年間延べ受験者数が100名以上の場合、またこの受検料を適用します。 2)12,100円 (2021年度現在10%の消費税込み価格)/ 回 :年間延べ受験者数が100名未満の場合、この受検料を適用します。					
⑫標準返却期間	試験終了から5日 (最短で3日ですが、受験者数によって5営業日必要な場合がございます)					
⑬URL(事業者のHPにおける測定ツール紹介)	https://www.britishcouncil.jp/exam/aptis/implement/mext					

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名：ブリティッシュ・カウンシル

測定ツール名：Aptis for Teens (アプティス フォー ティーンズ/中高生向け Aptis)

対象教科：英語

測定内容の区分：標準タイプ

I. 出題に関すること

(1) 出題の基本方針

実際に英語を使用する場面に即した出題で、「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」、「話すこと」に関する英語運用能力の測定を目的としています。コアパートとして実施される「語彙・文法」テストには、義務教育段階の内容も測定する出題で、基本的な英語力の定着度合も確認することが可能です。

<主な対象者>

- 10代の英語学習者

<出題範囲と学習指導要領との対応>

- 中学校「英語」の学習内容
- 高等学校「英語」のうち必修科目「コミュニケーション英語Ⅰ」の学習内容

日本国内外の学校生活等で、英語でコミュニケーションを図る場面を想定した素材を利用し、学習指導要領が求める言語活動に対応する出題となっています。

<知識・技能を問う問題の出題方針>

- 基本的な語彙力や文法力が定着しているかどうかを測ります。
- 語彙力や文法力を正確に運用できるかを測ります。
- リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすることができるかどうかを測ります。

<思考力・判断力を問う問題の出題方針>

- テーマに沿った解答ができるかどうかを評価します。
- 事実と意見を区別して理解できるか、また伝達できるかを評価します。
- 積極的にコミュニケーションを図れるかどうかを評価します。
- 聞いたり読んだりしたことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて簡潔に書いたり話したりできるかを評価します。

<出題形式>

- Core/Grammar + Vocabulary (文法+語彙)、Listening(聞くこと)、Reading(読むこと)の出題は選択式です。
- Writing(書くこと)の出題は短答式と記述式です。パート1では短答式、パート2では20~30語の記述式、パート3は30~40語の記述式、パート4は220~250語の記述式です。
- Speaking(話すこと)はコンピューターを利用した録音形式です。

<Aptis for Teens が測定しようとする資質・能力>

- 基本的な英語の文法と語彙に関する知識
- 「聞くこと」に関する力
- 「読むこと」に関する力
- 「書くこと」に関する力
- 「話すこと(やりとり)」に関する力
- 「話すこと(発表)」に関する力

< Aptis for Teens で測定可能な必修科目(コミュニケーション英語Ⅰ)での達成目標>

- 英語を聞いて概要・要点をとらえることができる。
- 聞き手に話の内容が伝わるように英語で情報を発信することができる。
- 読んだ英文の概要や要点を理解することができる。
- 自分の身の回りの事や与えられた課題について簡単な英文で表現できる。
- 事実と意見などを区別して、理解したり伝えたりすることができる。

<難易度の設定>

A1レベルからCレベルまでの測定が可能です。A2とB1、B1とB2の切断点を決定するための出題が各技能テストで最も効果的に設定されており、A2からB2までのレベルを測定するのに最適な評価ツールと言えます。

(2)構成等

- Core/Grammar + Vocabulary <文法+語彙> 25分/コンピューターまたはタブレットでの実施 (文法 25問・語彙 25問で 50点満点)
- Listening<聞く> 40分/コンピューターまたはタブレットでの実施 (25問/50点満点)
- Reading<読む> 35分/コンピューターまたはタブレットでの実施 (大問 4/全体 25問/50点満点)
- Writing <書く> 50分/コンピューターまたはタブレットでの実施 (大問 4/50点満点)
- Speaking<話す> 12分/マイク付ヘッドフォンとコンピューターまたはタブレットでの実施 (大問 4/50点満点)

① 出題形式

- <文法+語彙、聞く・読む> 選択式
- <書く> 短答式と記述式
- <話す> 発話した内容をコンピューターまたはタブレットへ録音する方式
質問に対して簡単な情報を解答する出題
写真を描写・説明し意見や理由を述べる出題
抽象的な質問に対して意見を述べる出題

② 出題範囲

中学校(義務教育)と高等学校の英語習指導要領で目標とされている、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の測定が可能な出題設定となっています。中学校での到達が求められている基礎的な英語力の定着を測定する出題が全体の約 30%、高校の共通必修科目(コミュニケーション英語 I)の学習内容が全体の約 70%という構成になっています。各技能ごとの学習範囲の割合は下記の通りです。

- Core/Grammar + Vocabulary <文法+語彙>
文法: 中学校「英語」の学習内容 90% /「コミュニケーション英語 I」の学習内容 10%
語彙: 中学校「英語」の学習内容 30% /「コミュニケーション英語 I」の学習内容 70% (25問中最後の 2 問は B2/C の切断を判定する設問になっているため、「コミュニケーション英語 I」で学習範囲に入っていない可能性があります)
- Listening<聞く> 中学校「英語」の学習内容 20% /「コミュニケーション英語 I」の学習内容 80%
- Reading<読む> 中学校「英語」の学習内容 20% /「コミュニケーション英語 I」の学習内容 80%
- Writing <書く> 中学校「英語」の学習内容 20% /「コミュニケーション英語 I」の学習内容 80%

- Speaking<話す> 中学校「英語」の学習内容 10% /「コミュニケーション英語Ⅰ」の学習内容 90%

(3) 難易度設定の考え方・方法

Aptis は CEFR 開発以降に開発され、CEFR に準拠して難易度の設定と評価を行っています。開発段階から、被験者の英語運用能力を技能ごとに CEFR のディスクリプターにマッピングすることにより難易度設定の正確性を担保してきました。

ブリティッシュ・カウンシル上級英語指導者によって、実際の受験者のコミュニケーション力と Aptis の結果を検証したフィードバックを妥当性の検討作業の前に参照した上、外部の研究者で構成された作業グループにより、CEFR のレベル切断点の妥当性を受容と発信のスキル両面から検証をおこなっています。使用語彙数も CEFR のフレームワークに沿って設定。語彙の一般的な使用頻度と BNC (British National Corpus) 20 をもとに、B2 では 5,000 (BNC20)、B1 レベルで 3,000 (BNC20) としています。Aptis for Teens ではこの語彙の中から学校生活で使用頻度の高い単語を中心に出题しています。

Aptis の素点と CEFR との対象関係に関する検証は定期的に行われています。最新のレポートはブリティッシュ・カウンシルのホームページで公表されています。

関連論文: Linking the Aptis Reporting Scales to the CEFR

<https://www.britishcouncil.org/exam/aptis/research/publications/reporting-scales> (別添資料①)

(4) 基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

Aptis for Teens では、10 代の受験者が学生生活で実際に英語でコミュニケーションを行う状況を想定して出题をしています。使える場面を想定することで、「何のために英語を学んでいるのか」という問いに対応できる工夫がされています。

(5) その他特長

1. Aptis for Teens は英語の知識だけではなく、自分の言葉として英語を運用し発信できるかということも評価します。特徴的なのはライティングとスピーキングのパートで、下記のような設問設定がされています。

<思考力・表現力>

スピーキングパートでは写真を比較し、独自の経験と知識を活用して受験者自身の意見を述べるよう求められます。具体的な事象だけでなく、抽象的な概念を説明できる構成力が求められる出題もあります。

<理解力・柔軟性 >

ライティングの出題では、与えられた課題に対して、賛成か反対かを論じる短いエッセイを書く設問があります。正しい表現を選択できる柔軟性と、英語で提起された課題を理解する力が問われます。

こういった出題形式を想定してクラスでの言語活動を行うことにより、生涯にわたって使える英語を習得する学習的波及効果 (Positive washback) が期待されます。

2. 語学教育・評価で参照されている CEFR で英語力を表示していますので、下記のような学校で有効に利用していただくことが想定されます。
 - 海外への進学を積極的に進めている。
 - 会話をクラス内での言語活動として積極的に取り入れている。
 - 外部試験受験につながる、4 技能の英語力を総合的に向上させる取り組みを強めたい。
 - スーパーグローバルハイスクールである。
 - スーパーイングリッシュハイスクールであった。

II. 結果提供に関すること

(1) 受検者個人への結果提供内容・方法

個人への成績は「Candidate Report」(英文)にて電子ファイル(PDF)にて学校に一括でメールにて送信されます。メールでの受け取りが難しい場合は、印刷したものを受け取り確認が可能な送付システムにて学校宛に発送されます。(別添資料②成績表サンプル)

診断結果提供項目は下記の通りです。

- Core/Grammar + Vocabulary <文法+語彙> 素点(50点満点)とCEFRレベル
- Listening<聞く> 素点(50点満点)とCEFRレベル
- Reading<読む> 素点(50点満点)とCEFRレベル
- Writing <書く> 素点(50点満点)とCEFRレベル
- Speaking<話す> 素点(50点満点)とCEFRレベル
- Final Scale Score(Coreパートを除く4技能) 総合点(200点満点)とCEFRレベル
- 4技能のバランスが確認できるグラフ

成績表裏面には、CEFRのスキル別のディスクリプターが印字されており、生徒は今の英語力で何ができるかを認識し、またどのスキルが弱いのかの確認ができます。(別添資料②個人向け成績サンプル) (「高校生のための学びの基礎診断」としてAptis for teensを利用いただく場合、CEFRのスキル別のディスクリプターは日本語で提供いたします)

*注:下記につきましては情報提供ができません。

- 問題
- 正答、正答例
- 解答
- 個別の学習のアドバイス

(2) 学校等への結果提供内容・方法

学校や教育委員会等へは下記の項目の提供が可能です。

- クラス別、学校別、学年別 CEFR レベル分布図
- 受験者成績一覧表(4技能毎の素点とCEFRレベル、総合点でのCEFRレベル)
- 技能別 CEFR 分布図
- 技能別平均点
- 経年比較(上記項目を記載した過去のレポートをご提供します)

CEFRのスキル別のディスクリプター(日本語訳付)により、クラスや個人の現在の英語力レベルと、目標とするレベルで求められるスキルを確認することができます。(別添資料③学校向けレポートのサンプル)

希望する学校には、有料で評価を基にPDCAサイクルに有効なレッスンプランを指導する教員向け研修や、学校にしてのコンサルティングサービスを提供いたします。

(3) 試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

- 診断結果は各技能を50点満点の均等バランスにより評価し、全体のCEFRと技能別のCEFRで表示します。
- CEFRはA0, A1, A2, B1, B2, Cの6段階で示され、同時に素点も表示されます。
- 技能別に診断された英語力で何が出来るレベルなのかを、CEFRの記述文リストで参照できます。
- 作問と評価はどのテストバージョンにおいてもCEFRに準拠して行っているため、結果表示や基準が変化することはありません。

採点は下記の手法で行われています。

<文法+語彙、読む・聞く>コンピューターによる採点

<話す・書く>トレーニングを受けた採点者が評価基準に基づいて評価

Ⅲ. 運営に関すること

(1) 問題の質を確保するための方法

<作問と妥当性の検証>

- ブリティッシュ・カウンシルの研修を受けたアイテムライター(作問)チームによって問題が作成されています。その後本部の特別問題作成チーム(外部の研究者を含む)により精査され、同じく本部の妥当性確認チームによって検証が行われています。このプロセスを通過した問題は試行テストとして英語を母語としない人に受験され、その結果をさまざまな角度からデータ解析したうえ、文化的な偏向性が無いかなどの点も検証され、最終的に Aptis の問題として採用されるように調整されています。
- 外部の研究者による妥当性の検討は定期的実施されており、最新の研究は公表されます。

研究レポートは下記にて公開されています。

<https://www.britishcouncil.org/exam/aptis/research/publications/technical>

(2) 学校における実施方法

- 実施日
 1. 実施日と時間は学校のスケジュールに合わせて選択が可能で、学事暦や時間割に合わせてテスト日の設定が可能です。
 2. 合意した7日の期間内で、4技能+コアパートを別日に分けて受験をすることが可能です。
- 事前準備
 1. 学校のコンピューター施設を利用していただくことが前提となっていますので、テスト日の前に動作確認ができるようブリティッシュ・カウンシルの職員がリモートでサポートいたします。
 2. 学校から事前に申請のあった生徒の名前ごとに、コンピューターテスト受験用「Keycode」を発行いたします。
- テスト実施に係る学校の役割
 1. 「Keycode」のプリントアウトと配布
 2. コンピューターの動作確認と設定
 3. 安全なテスト環境の確保
 4. テストのダウンロード/アップロード作業と確認
 5. ヘッドフォン・マイクの設定
 6. 試験監督 (カンニング、試験問題の録音・録画の禁止)
- 試験当日
 1. 試験中のお問い合わせ(トラブルシューティング)は 事前に合意した試験実施時間で、電話での連絡に対応いたします。
 2. 万一システムに問題がありテストの実施ができなかった場合、または一部技能テストが完了しなかった場合は、後日再試験の設定が可能です。

詳細につきましては、別添資料⑤「高校生のための学びの基礎診断実施のためのご案内」と別添資料⑥「Aptis受験者ガイド【簡易版】」をご参照ください。

(3) 採点の方法と体制

- Speaking と Writing の採点 :世界約 100 か国にいるトレーニングを受けた採点者によって評価されています。採点官は英語の教授経験があり、CEFR を授業で参照しているため採点基準に対して高い理解度があります。採点の内容は定期的にモニターされ正確性と妥当性を担保しています。また、Aptis の Speaking と Writing では、出題ごとに採点を担当する採点者が決まっているため採点基準がぶれにくく、また受験者一人に対して複数名で評価することにより公平性を保っています。
- 解答は「Keycode」をもって受験者個人とタグ付けされて管理されているため、採点者は個人名や国籍などの個人情報認識することがありません。これによって公平性と透明性を担保しています。
- Listening と Reading の採点は機械採点されています。解答と難易度の妥当性は定期的にモニターされています。
- 評価基準は公表されています。別添資料④「Aptis のテスト設計と妥当性に関するレポート(日本語要約)」をご参照ください。
- 採点システムに関しては、下記リンクにてテクニカルレポートを公表しています。

<https://www.britishcouncil.org/exam/aptis/research/publications/technical/aptis-scoring-system-V2-0>

(4)情報管理体制

- ブリティッシュ・カウンシルは「Cyber Essentials」という認証を受けています。認証を行っているのは Crest(<https://www.crest-approved.org/>) という団体です。英国政府は 2014 年から行っているサイバーセキュリティ政策をより確実に実行するため、政策にそった認証システムを Crest とともに確立しました。「Cyber Essentials」の取得は英国政府の関係機関と取引先すべてに求められています。この資格は ISO/IEC 27000 の認定項目をすべてカバーしています。
- 英国本部または英国政府による監査が定期的に行われ、情報管理体制について直接的な指導を受けています。
- ブリティッシュ・カウンシルではすべての職員に 2 年ごとに「Data Protection (「情報取り扱い」と「Child Protection (18 歳未満の未成年者を対象として業務を行う際の注意)」に関するオンライントレーニング受講を課しています。2 年ごとに受講することにより最新の法令や状況の理解へつながっています。すべての職員はトレーニングを規定以上の成績で終了し、修了書を人事部に提出することが求められています。
- ブリティッシュ・カウンシルで試験業務に従事する職員は、「Confidentiality Undertaken (守秘義務に関する同意書)」にサインをし、試験や評価に係る守秘義務を果たしています。

IV. 情報開示に関すること

(1)障害のある受験者等への配慮

英国の障害者差別禁止法に基づき、基本的にすべての受験者を受け入れるようテストの実施や免除を行っています。受験に際しては、事前に医師の診断書・障害者手帳のご提示いただき、ご本人、担当教員と相談の上で実施の体制を整えます。

現在下記のような特別措置を行っています。

- 点字
- 拡大文字
- 読み上げ機能の使用
- 視覚障害者向けスピーキングテスト(写真情報の補完)
- 受験が難しい技能の免除
- 時間延長
- 誤った綴りに対する減点の免除(難読症の受験者)

- 代筆者

(2) 事前／事後学習教材の有無、内容

Aptis 学習ガイドでは、設問ごとの有効なテスト準備解説をしています。また、無料で利用できるインターネット上の多くの教材リンクをご紹介しますので、生徒個人の学習と教員が教室内での指導を行う際にご利用いただけます。

<https://www.britishcouncil.jp/exam/aptis/take-test> (Aptis デモテストとアドバイス動画)

別添資料⑦「Aptis for Teens(中高生向け Aptis)学習ガイド」(英語版:日本語版に翻訳予定)

(3) 学習状況等のアンケートの有無、内容

現在は行っておりません。

(4) 個人受検の可否

個人での受験はお受付していません。学校を通して依頼があった場合は、1人であってもテストの実施を行います。受験料の支払いは学校への請求とし、結果も学校宛での送付となります。また、年間の延べ受験者数が100名未満の場合は、1回あたりの受験料が3,000円高くなります。

(5) 問題内容の情報提供

サンプル問題と解答、学習のヒントが記載された受験者ガイドを提供します。過去問や実際に受験したテストの正誤は公開していません。

(6) その他

<経済的に困難な状況にある学生への配慮>

- 学校または都道府県教育庁が定める要件により、配慮が必要であると認定された学生に対しては、受験料の減額などの措置をとることが可能です。
- 受験料の減額申請に関しては、事前にブリティッシュ・カウンシルへご相談ください。

(様式3)

認定要件への適合性を示す書類等一覧について

事業者名: プリティッシュ・カウンスル
測定ツール名: Aptis for Teens (アプティス フォー ティーンズ/中高生向けAptis)
対象教科: 英語
測定内容の区分: 標準タイプ

I. 出題に関すること

＜提出必須書類＞

書類等の内容	書類等の名称
測定しようとする資質・能力の具体的内容について	様式4
サンプル問題	様式5

＜提出任意の書類＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号	対応する認定基準				
			I. (1)	I. (2)	I. (3)	I. (4)	I. (5)
関連論文: Aptisの評価基準とCEFRとの関連	Technical Report/Linking the Aptis Reporting Scales to the CEFR	①			○		

II. 結果提供に関すること

＜提出任意の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号	対応する認定基準	
			II. (1)	II. (2)
個人向け成績表サンプルと解説	Candidate Report	②	○	
学校向け成績データ	Aptis 4 package @ school	③		○

III. 運営に関すること

＜提出必須の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号
学校用実施マニュアル	高校生のための学びの基礎診断・実施のためのご案内	⑤
コンピューターテスト受験マニュアル	Aptis受験者ガイド【簡易版】	⑥

＜提出任意の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号
評価基準とテスト設計をスキルごとに表示	Aptisのテスト設計と妥当性に関するレポート(日本語要約)	④

IV. 情報開示に関すること

＜提出任意の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号
事前/事後学習教材	Aptis for Teens(中高生向けAptis)学習ガイド	⑦

Aptis

Forward thinking

高校生のための学びの基礎診断
実施のためのご案内

June 2021



Aptis for Teens の実施に向けて

Aptis for Teens の実施に向けて、学校で行っていただくこと、ブリティッシュ・カウンシルとの連絡、そして生徒の皆さんとの準備についてのご紹介します。このタイムラインを参考に、Aptis 実施の計画を立てましょう。

	学校で行っていただくこと	ブリティッシュ・カウンシルとの連絡	生徒たちの準備のために
3 か月前まで	<p>《プランを立てましょう！》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 何のために行うのか？ <input type="checkbox"/> 対象の生徒は？ <input type="checkbox"/> 日程は？ <p>教育機関でどのように有効活用できるかについて学ぶ https://www.britishcouncil.jp/exam/aptis/assessment-needs/schools</p> <p>Aptis for Teens について学ぶ https://www.britishcouncil.jp/exam/aptis/assessment-needs/schools/teens</p>	<p>どのテストパッケージを選んだらいいか、お悩みですか？</p> <p>テスト実施の目的や、テスト実施環境についてご相談ください。有効な Aptis の利用や実施に関してご提案させていただきます。また、テスト実施にかかるお見積もりなども、ご案内いたします。</p> <p>Aptis お問い合わせフォーム(以下リンク)よりお問い合わせください。 https://www.britishcouncil.jp/exam/aptis/message</p>	<p>ブリティッシュ・カウンシルの Aptis ページでは、各テストの内容についての動画(英語のみ)と、デモテストをご用意しています。</p> <p>この段階では、デモテストはクラス全体で内容を確認しながら皆ですすめていくのもおすすめです。</p> <p>内容についての動画とデモテストを確認する。 https://www.britishcouncil.jp/exam/aptis/take-test</p>
テスト実施希望日の 3 週間前まで	<p>《ご受験内容の確定・お申し込み》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 英語表記で下記受験者情報をお知らせください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. First name (名) 2. Family name(氏) 3. Gender(性別) 4. Date of Birth(生年月日) <input type="checkbox"/> 実施希望日をお知らせください。 <input type="checkbox"/> 特別措置受験者はいますか？ 	<p>受験希望日時・受験者リストをメールにてお知らせください。 exams@britishcouncil.or.jp</p> <p>下記の書面をブリティッシュ・カウンシルより学校宛にお送りいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 契約書(業務委託) <input type="checkbox"/> 個人情報保護と取扱いに関する同意書 <input type="checkbox"/> お見積書 <input type="checkbox"/> 動作確認(試行テスト)用のアクセスコード(一通りテストを進めて、問題がないかどうかご確認ください。) 	<p>ペアワークなどを取り入れて、発話の練習をしましょう。</p> <p>Aptisのライティングテストにそった形式で英作文の課題を出してみましょう。</p>
テスト実施希望日の 1 週間前まで	<p>《テスト実施に必要な情報の取得》</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> コンピューターのシステム要件は満たしていますか？(P3 以降に記載のシステム要件をご確認ください) <input type="checkbox"/> ヘッドフォン等の必要な機器は準備できましたか？ <input type="checkbox"/> 動作確認(試行テスト)は無事終了しましたか？ 	<p>コンピューターテストに必要な受験者個別のアクセス詳細をご案内いたします。</p>	<p>テストにリラックスしてのぞめるよう、もう一度デモテストを実施するのもおすすめです。</p>

	学校で行っていただくこと	ブリティッシュ・カウンシルとの連絡	生徒たちの準備のために
テスト当日	<p>《Aptis の実施》</p> <p>Aptis 受験者ガイドの簡易版ではログイン時のスクリーンなどもご確認いただけます。事前に把握しておくことと当日の運営がスムーズです。</p> <p>試験会場での注意</p> <ul style="list-style-type: none"> □ ヘッドフォンの音量と動作確認をテスト前に行ってください。 □ 携帯電話の持ち込みは禁止です。 □ メモ用紙と筆記用具の使用は可能です。 □ 記入済のメモ用紙は先生が回収して破棄してください。 □ 試験問題の録画・録音はしないでください。 	<p>当日の緊急連絡先をお知らせいたします。(平日のみ対応可)</p>	<p>受験者の皆さんがリラックスしてのぞめますように！</p>
テスト実施日より約 1 週間	<p>《試験結果の受領》</p> <p>試験結果をもとに学習プランを考えましょう。</p> <p>CEFR については、以下のページでもご確認いただけます。 HTTPS://WWW.BRITISHCOUNCIL.JP/PROGRAMMES/ENGLISH-EDUCATION/UPDATES/4SKILLS/ABOT/CEFR</p>	<p>テスト結果をメールまたは郵送でご案内いたします。</p>	<p>テストの結果を生徒と確認しながら、今後の英語学習計画をたてましょう！</p>

ブリティッシュ・カウンシルでは教育機関向けに下記のサービスを有料で提供しています。

学校全体で取り組む英語教育の指導改善のためのご支援(コンサルティング)

- ・到達目標と指導及び評価が一体化したカリキュラムの立案
- ・4技能の総合的な育成に向けた教員研修
- ・評価の枠組み及び評価基準についての教員研修
- ・チームとしてのカリキュラム・マネジメント力向上に向けたメンタリング等

事例などは下記「日本での英語教育の活動」サイトをご覧ください。

<https://www.britishcouncil.jp/programmes/english-education/japan>

お問い合わせは: TeacherSeminar@britishcouncil.or.jp

Aptis システム要件

本システム仕様書は、Aptis の実施に必要なハードウェアとソフトウェアを紹介しています。(Janison Insights 監修)

概要詳細

Aptisを実施するためのアプリケーションは、Windowsのコンピューター、Androidのタブレット、iPad用に用意されています。以下のリンクでは、Microsoft OSの旧バージョンのサポート終了日を紹介していますので、ご確認ください。

<https://support.microsoft.com/en-gb/help/13853/windows-lifecycle-fact-sheet>

オペレーティングシステム(OS)

現在サポートされている OS は以下の通りです:

- Windows 10 以上
- Android 5.0 以上
- iOS 12 以上

必要要件の詳細

最小要件			
コンピューター	OS	ハードウェア	サポート対象外
Windows	Windows 10 以降	1GB以上のメモリの使用可能領域(PC起動後)、1Ghz以上のCPU、ハードドライブに1GB以上の空き容量が必要です。 その他の必須コンポーネント Microsoft Visual C++ Redistributable Packages 2015 https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=52685 .NET Framework 4.5.2 https://www.microsoft.com/en-au/download/details.aspx?id=42642 (上記コンポーネントは.exeファイルには含まれていますが、*.msiインストーラには含まれていません。)	Windows RT Windows タブレット Windows タッチスクリーン デュアルモニター Windows 7
iOS	iOS 12 以降	iPad Pro以降 iPad Air以降 iPad (第6世代)以降 iPad mini 2以降	iPad mini はサポートされていますが、スクリーンのサイズが小さいため、推奨していません。 タブレットを使用する場合はオンラインモードで使用する必要があります。
Android	Android 5.0 以降	*2015年以降に製造された端末機器。1GB以上のメモリ、1Ghz以上のCPU、ハードドライブの空き容量 1GB以上が必要です。 また、Android System WebView、Chromium 56以上も必要です。 https://play.google.com/store/apps/details?id=com.google.android.webview	Kindle Fire (Fire OS) *アンドロイドは、多くのメーカーによって製造され、ハードウェア器構成も多様で、OSもカスタマイズされているため、iOSのように規格化されていません。そのため最低限のハードウェアとシステム要件を満たしているアンドロイド端末機器でも、万全にサポートされていないことがあります。

周辺機器	最小要件
スクリーン	9.5インチ以上 画面解像度1024 x 768以上 表示可能色32,000以上
ヘッドホン・各種イヤホン	スピーキングテストとリスニングテストでは、ヘッドホンまたはイヤホンが必要です。

マイク	スピーキングテストではマイクが必要です。
キーボード	ノートパソコンを使ってテストを実施する場合は、有線または無線のキーボードが必要です。
ポインティング・デバイス	マウス、トラックパッド、タッチパッド

ブラウザについて

Web ブラウザ版の Aptis テストを受験される際には、Google Chrome をご使用ください

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：ブリティッシュ・カウンシル

測定ツール名：Aptis for Teens (アプティス フォー ティーンズ/中高生向け Aptis)

対象教科：英語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>英語を読むことに慣れ親しみ、初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるための、基礎的な文法力があるかどうかを測定します。</p> <ul style="list-style-type: none">文脈を理解し、文法的に正しい語彙を選択することができる。	<p>コアパート</p> <p><文法+語彙></p> <p>1 文法</p> <p>【設問数】 25 問</p> <p>【出題形式】選択式</p> <p>サンプル問題 1</p>	<p>読むこと・書くこと</p>	<p>中学学習指導要領との関連:内容(2)</p> <p>読むこと</p> <ol style="list-style-type: none">ア:文字や符号を識別し、正しく読むこと。イ:書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。ウ:物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。エ:伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じること。 <p>書くこと</p> <ol style="list-style-type: none">ア:字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。イ:語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。 <p>コミュニケーション英語 I :内容(2)</p> <ol style="list-style-type: none">イ:内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>英語を読むことに慣れ親しみ、初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるための語彙力があるかどうかを測定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文脈を理解し、意味的に正しい語彙を選択することができる。 単語の意味を理解して、文脈にあった正しい同義語を選択することができる。 	<p>コアパート ＜文法＋語彙＞</p> <p>2 語彙</p> <p>【設問数】 25 問 【出題形式】選択式 サンプル問題 2</p>	<p>読むこと・書くこと</p>	<p>中学学習指導要領との関連：内容(2)</p> <p>読むこと</p> <ol style="list-style-type: none"> ア：文字や符号を識別し、正しく読むこと。 イ：書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。 ウ：物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。 エ：伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じること。 <p>書くこと</p> <ol style="list-style-type: none"> ア：字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。 イ：語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。 <p>コミュニケーション英語 I：内容(2)</p> <ol style="list-style-type: none"> イ：内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>英語の読解力を測ります。テストは、進んでいくにつれて難易度が上がっていきます。</p> <p>4つあるパートごとに異なる種類の読むスキルを評価します。(パート1: 文の理解、パート2: 整序問題、パート3: 短文読解、パート4: 長文読解)</p> <ul style="list-style-type: none"> 短文を読んで文脈を理解し、適切な語彙を選んで文章を完成させることができる。 短文を読んで要点を理解し、文章の整合性を考えながら並び替えをすることができる。 まとまりのある文章を読んで文脈を理解し、適切な語彙を選んで文章を完成させることができる。 750語程度の文章を読んで概要や要点を理解し、各段落にもっとも適切なタイトルを選択することができる。 	<p>リーディングパート</p> <p>【設問数】25問</p> <p>【出題形式】選択式</p> <p>サンプル問題3</p>	<p>読むこと</p>	<p>中学学習指導要領との関連: 内容(2)</p> <p>読むこと</p> <ol style="list-style-type: none"> イ: 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。 ウ: 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。 エ: 伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じること。 オ: 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること。 <p>コミュニケーション英語 I : 内容(2)</p> <ol style="list-style-type: none"> イ: 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 イ: 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>語句や数字の聞き取りと、会話を聞いて具体的で詳細な事項を聞いて状況を理解したり、相手の意図を推測できるかといったスキルを測定します。3つあるパートごとに異なる聞く力を評価します。(パート1: 語句や数字の聞き取り、パート2: 具体的で詳細な事柄の聞き取り、パート3: 推測)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然な口調で話された短い英語を聞いて、語彙や数字を正確に聞き取ることができる。 まとまりのある英語を聞いて、詳細な情報を適切に聞き取ることができる。 対話またはモノローグを聞いて、口調などを手掛かりに、話し手の気持ちや意図を推測することができる。 	<p>リスニングパート 【設問数】 25 問 【出題形式】選択式 サンプル問題 4</p>	<p>聞くこと</p>	<p>中学学習指導要領との関連: 内容(2) 聞くこと</p> <ol style="list-style-type: none"> ア: 区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえて、正しく聞き取ること。 イ: 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ること。 ウ: 質問や依頼などを聞いて適切に応じること。 オ: まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること。 <p>コミュニケーション英語 I : 内容(2)</p> <ol style="list-style-type: none"> ア: 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 ア: リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>英語での基本的な発話能力だけでなく、テーマとの関連性、正確性、流暢さ、整合性を評価します。4つあるパートごとに異なる話す力を評価します。(パート1: 個人的な情報を伝える、パート2: 描写する・意見を述べる・理由や説明を述べる、パート3: 描写する・比較する・理由や説明を述べる、パート4: 抽象的なトピックに関し自身の経験と意見を述べる)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自身についての基本的な情報を正確に発信できる。 写真を見て、自身の考えと客観的な事実を区別して聞き手につたえることができる。 2つの写真を比較をもちいて描写し、関連性を推測して話すことができる。 与えられた情報と写真をもとに、抽象的な課題に関して話すことができる。 	<p>スピーキングパート 【設問数】4問 【出題形式】コンピュータ一への音声録音形式 サンプル問題5</p>	<p>話すこと</p>	<p>中学学習指導要領との関連: 内容(2) 話すこと</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ア: 強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音すること。 2) イ: 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。 3) ウ: 聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりなどすること。 4) エ: つなぎ言葉を用いるなどのいろいろな工夫をして話を続けること。 5) オ: 与えられたテーマについて簡単なスピーチをすること。 <p>コミュニケーション英語 I : 内容(2)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ウ: 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて話し合ったり意見の交換をしたりする。 2) ア: リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。 3) ウ: 事実と意見などを区別して、理解したり伝えたりすること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>出題を理解したうえで、何を書くか構成や内容を考えて解答することが求められます。(パート1: 単語レベルのライティング、パート2: 短文ライティング、パート3: 3つの質問に対する解答のライティング、パート4: エッセイライティング)</p> <ul style="list-style-type: none"> 簡単な質問に対して、適切な単語を書いて解答することができる。 質問に対して、正しい文法・句読点・綴りを用いて短文で解答することができる。 3つの質問に対して、文法や綴りの正確性に注意しながら、整合性のある文章で解答することができる。 与えられたテーマについて、学んだことや経験したことに基づいて自分の考えをまとめ、文章を書くことができる。 	<p>ライティングパート 【設問数】4問 【出題形式】記述式と短答式 サンプル問題6</p>	<p>書くこと</p>	<p>中学学習指導要領との関連: 内容(2) 書くこと</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ア: 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。 2) イ: 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。 3) ウ: 聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどすること。 4) エ: 身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと。 5) オ: 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。 <p>コミュニケーション英語 I : 内容(2)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ウ: 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて話し合ったり意見の交換をしたりする。 2) エ: 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて簡潔に書く。 3) イ: 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 4) ウ: 事実と意見などを区別して、理解したり伝えたりすること。

(様式5)

サンプル問題について

事業者名:ブリティッシュ・カウンスル

測定ツール名:Aptis for Teens (アプティス フォー ティーンズ/中高生向け Aptis)

対象教科:英語

測定内容の区分: 標準タイプ

サンプル問題番号(大問番号): 1

出題科目	英語 コアパート (文法)										
出題のポイント	英語を読むことに慣れ親しみ, 初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるための、基礎的な文法力があるかどうかを測定します。										
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>1-25</td><td>○</td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	1-25	○					
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等									
1-25	○										
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>1-25</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	1-25	○				
小問番号	選択式	短答式	記述式								
1-25	○										
主として問う技能	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr></thead><tbody><tr><td>1-25</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く	1-25		○		○
小問番号	聞く	読む	話す	書く							
1-25		○		○							
サンプル問題	I am _____ for a new partner to finish my poster project with. 1) look 2) looked 3) looking										
解答例	3) looking 正答条件: 文法的に正しい語彙を選択できていること。										
(参考)学習指導要領の関連項目	コミュニケーション英語 I :内容(2) 1) イ:内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 中学学習指導要領との関連:内容(2) 書くこと 1) ア:字や符号を識別し,語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。 2) イ:語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。										

事業者名:ブリティッシュ・カウンシル

測定ツール名:Aptis for Teens (アプティス フォー ティーンズ/中高生向け Aptis)

対象教科:英語

測定内容の区分: 標準タイプ

サンプル問題番号(大問番号): 2

出題科目	英語 コアパート (語彙)										
出題のポイント	英語を読むことに慣れ親しみ、英文を読んで書き手の意向などを理解するための語彙力があるかどうか、正しく語彙の意味を理解しているかを測定します。										
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>1-25</td><td>○</td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	1-25	○					
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等									
1-25	○										
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>1-25</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	1-25	○				
小問番号	選択式	短答式	記述式								
1-25	○										
主として問う技能	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr></thead><tbody><tr><td>1-25</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く	1-25		○		○
小問番号	聞く	読む	話す	書く							
1-25		○		○							
サンプル問題	<p>文法上の意味の理解：文章の完成問題</p> <p>Complete each sentence using a word from the drop list.</p> <p>1) My teacher is very _____ about history.</p> <p>2) I can dance, but I can't _____ very well.</p> <p>3) Our school is going to have a _____ competition on Friday.</p> <p>4) I have been _____ English for five years.</p> <p>5) I'm getting really _____ about going to London.</p> <ul style="list-style-type: none">• sing• excited• old• fun• studying• last• bad• knowledgeable• speech• current <p>語彙の意味の理解</p> <p>For each of the five definitions below, select the word from the list that matches the definition.</p> <p>6) To formally give up a position or an office</p> <p>7) To be fully aware of the surroundings and happenings</p>										

	<p>8)The free time when not in school or working</p> <p>9)A regularly followed pattern of behavior</p> <p>10)To practice something in private before making a presentation</p> <ul style="list-style-type: none"> o forecast o echo o lodge o leisure o rehearse o badge o outcome o alert o habit o resign
<p>解答例</p>	<p>1) knowledgeable 2) sing 3) speech 4) studying 5) excited</p> <p>正答条件: 文脈にあった適切な語彙が選択できていること。</p> <p>6) resign 7) alert 8) leisure 9) habit 10) rehearse</p> <p>正答条件: 単語の意味を定義する短文を理解し、その定義にあった単語を選択できていること。</p>
<p>(参考)学 習指導要 領の関連 項目</p>	<p>中学学習指導要領との関連: 内容(2)</p> <p>読むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) イ: 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。 2) ウ: 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。 <p>書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) イ: 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。 <p>コミュニケーション英語 I : 内容(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) イ: 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。

事業者名:ブリティッシュ・カウンシル

測定ツール名:Aptis for Teens (アプティス フォー ティーンズ/中高生向け Aptis)

対象教科:英語

測定内容の区分: 標準タイプ

サンプル問題番号(大問番号): 3

出題科目	英語 リーディング										
出題のポイント	英語の読解力を測ります。知らない単語があっても文脈から意味を推察して要点を理解することができるかどうかを測定します。										
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>2-4</td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	1	○		2-4		○	
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等									
1	○										
2-4		○									
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>1-4</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	1-4	○				
小問番号	選択式	短答式	記述式								
1-4	○										
主として問う技能	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr></thead><tbody><tr><td>1-4</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く	1-4		○		
小問番号	聞く	読む	話す	書く							
1-4		○									
サンプル問題	<p>The sentences below are from a school newspaper. Put the sentences in the right order.</p> <p>LEAVE YOUR CAR AT HOME.</p> <p>A. Teachers and students like to drive cars. So, school parking lots are often full.</p> <p>B. With fewer cars on the road, it will also be easier to breath cleaner air during that exercise.</p> <p>C. Walking or riding a bike to school is a great way to help solve this problem.</p> <p>D. This also increases the number of cars on the road in the morning and after classes.</p> <p>E. Teachers and students could help reduce the traffic if they do not drive.</p> <p>F. Because of the many advantages, we should think about not driving our cars to school.</p> <p>G. It will also give them some exercise while travelling to and from school.</p>										
解答例	<p>A→D→E→C→G→B→F の順序</p> <p>正答条件: 文章の整合性を捉えて、正しく文章を完成できていること。</p>										
(参考)学習指導要領の関連項目	<p>中学学習指導要領との関連:内容(2)</p> <p>読むこと</p> <ol style="list-style-type: none">1) ウ:物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。2) エ:伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じること。 <p>コミュニケーション英語Ⅰ:内容(2)</p> <ol style="list-style-type: none">1) イ:説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。2) イ:内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。										

事業者名:ブリティッシュ・カウンシル

測定ツール名:Aptis for Teens (アプティス フォー ティーンズ/中高生向け Aptis)

対象教科:英語

測定内容の区分: 標準タイプ

サンプル問題番号(大問番号): 4

出題科目	英語 リスニング															
出題のポイント	語句や数字の聞き取りと、会話を聞いて具体的で詳細な事項を聞いて状況を理解したり、相手の意図を推測できるかを測定します。															
主として問う能力	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小問番号</th> <th>知識・技能</th> <th colspan="2">思考力・判断力・表現力等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>○</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>2-4</td> <td></td> <td colspan="2">○</td> </tr> </tbody> </table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等		1	○			2-4		○	
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等														
1	○															
2-4		○														
出題形式	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小問番号</th> <th>選択式</th> <th>短答式</th> <th>記述式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-4</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				小問番号	選択式	短答式	記述式	1-4	○						
小問番号	選択式	短答式	記述式													
1-4	○															
主として問う技能	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小問番号</th> <th>聞く</th> <th>読む</th> <th>話す</th> <th>書く</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-4</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				小問番号	聞く	読む	話す	書く	1-4	○					
小問番号	聞く	読む	話す	書く												
1-4	○															
サンプル問題	<p>Listen to the message from Simon. Where should Ben get off the train?</p> <p>A. Dandenong B. the university C. Huntingdale D. North Road</p> <p><スクリプト></p> <p>Hi Ben, this is Simon.</p> <p>It's great that you can come to the party. My house is near the university.</p> <p>So just catch a train on the Dandenong line and get off at Huntingdale station.</p> <p>And then, take the 603 bus and I will meet you at the university entrance on North Road.</p> <p>Call me if you have any problem.</p>															
解答例	<p>C. Huntingdale</p> <p>正答条件: 自然な口調で話された内容から、情報を正確に聞き取り、質問に対して正しい単語を選択していること。</p>															
(参考)学習指導要領の関連項目	<p>中学学習指導要領との関連: 内容(2)</p> <p>聞くこと</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ア: 区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえて正しく聞き取ること。 2) イ: 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ること。 3) オ: まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること。 <p>コミュニケーション英語 I : 内容(2)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ア: 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 															

	<p>ア:リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴, 話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。</p>
--	---

事業者名:ブリティッシュ・カウンシル

測定ツール名:Aptis for Teens (アプティス フォー ティーンズ/中高生向け Aptis)

対象教科:英語

測定内容の区分: 標準タイプ

サンプル問題番号(大問番号): 5

出題科目	英語 スピーキング										
出題のポイント	英語での基本的な発話能力だけでなく、テーマとの関連性、正確性、流暢さ、整合性を評価します。										
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>1-4</td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	1-4		○				
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等									
1-4		○									
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> <p>コンピューターへの録音方式で行います。</p>	小問番号	選択式	短答式	記述式						
小問番号	選択式	短答式	記述式								
主として問う技能	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr></thead><tbody><tr><td>1-4</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く	1-4			○	
小問番号	聞く	読む	話す	書く							
1-4			○								
サンプル問題	<p>Describe this picture. You have 45 seconds.</p> 										
解答例	<p>A teacher and a group of her students are looking at something on a computer. They appear to be happy because they are all smiling and look like they are enjoying themselves.</p> <p>正答条件: 正しい文法と適切な語彙で、聞き手が写真の情景を思い浮かべることができる描写ができていること。聞き手が理解できる速さで、適切なイントネーションや発音で話していること。</p>										
(参考)学習指導要領の関連項目	<p>中学学習指導要領との関連:内容(2)</p> <p>話すこと</p> <ol style="list-style-type: none">1) ア:強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音すること。2) イ:自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。3) エ:つなぎ言葉を用いるなどのいろいろな工夫をして話を続けること。 <p>コミュニケーション英語Ⅰ:内容(2)</p> <ol style="list-style-type: none">1) ア:リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。2) ウ:事実と意見などを区別して、理解したり伝えたりすること。										

事業者名:ブリティッシュ・カウンシル

測定ツール名:Aptis for Teens (アプティス フォー ティーンズ/中高生向け Aptis)

対象教科:英語

測定内容の区分: 標準タイプ

サンプル問題番号(大問番号): 6

出題科目	英語 ライティング										
出題のポイント	質問内容を理解した上で、必要な情報を文法的に正しく、適切な語彙を選択して解答できるかどうかを評価します。										
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>1-4</td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	1-4		○				
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等									
1-4		○									
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>1-4</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	1-4			○		
小問番号	選択式	短答式	記述式								
1-4			○								
主として問う技能	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr></thead><tbody><tr><td>1-4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く	1-4				○
小問番号	聞く	読む	話す	書く							
1-4				○							
サンプル問題	<p>You are a new member of a sports club. Fill in the form. Write in sentences. Use 20-30 words. You have 7 minutes.</p> <p>Aptis Sports Club</p> <p>Please tell us about the days and times you can come and the activities you enjoy.</p>										
解答例	<p>I can come on Mondays and Thursdays around 16:00 after the classes.</p> <p>I enjoy swimming and playing tennis.</p> <p>正答条件: 制限文字数に従っていること。テーマに即した内容で、質問に明確な文章で答えていること。</p>										
(参考)学習指導要領の関連項目	<p>中学学習指導要領との関連:内容(2)</p> <p>書くこと</p> <ol style="list-style-type: none">1) ア:文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。2) イ:語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。 <p>コミュニケーション英語 I :内容(2)</p> <ol style="list-style-type: none">1) ウ:聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて話し合ったり意見の交換をしたりする。2) エ:聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて簡潔に書く。3) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。										